

息子の行動を、少しゆとりを持って見られるようになりました



息子は、保育所の年少の時、運動会で1番になることができないでパニックをおこしてしまいました。その様子を他の保護者の皆さんがびっくりして見ていたのを今でも覚えています。パニックの数が増えると、逆に、息子と一緒に遊んでくれるお友だちが減ってきてしまいました。お友達や保護者の方に息子の特性をどうしたら理解していただけるかとても悩みました。勇気を出して、このままだと息子が『乱暴でこわい子』と誤解されてしまわないかと、保育所の先生に相談しました。先生は、市の保育課に連絡をしてくれ、保健師さんと、市の巡回相談員さんが、保育所での息子の様子を見にきてくれました。

その後、パニックをおこしてしまうのには理由があることや、

1番困っているのは息子自身であること等をていねいに

私や先生方に説明してくれました。そのことをきっかけに、息子の行動を、少しゆとりを持って見られるようになりました。

(小1男子の父)



ミニ情報コーナー

■「就学義務の猶予又は免除」について

お子さんが、満6歳に達し、7歳を迎える年度によいよ小学校入学（就学）となりますが、低出生体重児として産まれた場合や、療養に専念する必要がある場合等は、市町村教育委員会で「就学義務の猶予又は免除」という制度について説明を聞く等、就学相談を受けることができます。

■「保護者向け早期相談支援Q&A①（就学に関する情報）」及び

「保護者向け早期相談支援Q&A②（家庭での子育てに関する情報）」について

県教育委員会 特別支援教育課のホームページに掲載（平成28年4月より）しています。保護者のいろいろな質問（Q）に応える（A）形で、記載されています。

千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課

〒260-8662 千葉市中央区市場町1-1 電話 043-223-4050

ホームページは…

FAX 043-221-1158

千葉県 特別支援教育課

検索

平成28年3月



千葉県マスコットキャラクター
「チーパくん」

幼児期のお子さんを
持つ保護者の皆様へ

みんなで取り組む 千葉の教育



早期相談支援リーフレット

お子さんのこと いっしょに考えてみませんか？

チーム 子育て



子育てを応援します
相談できる場所は、いろいろあります

千葉県教育委員会

子育てで、気になることはありませんか？



落ち着きがなくて、あぶなっかしいわ
外へ行くと私かへとへとになってしまうの

やってはいけないと何度注意しても
やめてくれないの

ひとつのことに没頭すると、話しかけても聞いてくれない...

おしゃべりだけど、聞いたことには
こたえてくれないのよね

視線が合わないけれど、大丈夫かな

いつも一人で遊んでる...友だちができないのかしら



か行の発音がうまくいかないようだわ



体の動きがぎこちなくて、見ていてはらはらすることがある



相談はここ

- お子さんの通っている保育所・幼稚園・こども園の先生
- 市町村の保健（福祉）センター（保健師さん）
- お住まいの市役所、町村役場の子育て支援に関する部署
- お住まいの市町村教育委員会や教育センター等
- 千葉県総合教育センター 特別支援教育部

Tel 043-207-6025 (相談専用)

■市町村の相談窓口一覧（連絡先）を、千葉県教育委員会
特別支援教育課のホームページに掲載（平成27年4月より）して
います。

早く相談してよかったです



言葉の遅れと、ほしい物に固執してスーパーでも大声で泣くことを心配して、3歳児検診のときに保健師さんに相談しました。保健師さんからは、市の子ども発達支援センターの利用を勧められ、市役所に行って手続きをしました。週2回の集団療育と月1回の言語訓練を受けることになりました。また、体の使い方もぎこちなかったため、近所の子ども向け体操教室にも通い始めました。息子は音楽に合わせて体を動かすことが大好きなようで、不器用ながら、とても楽しそうです。（3歳児の母）

小学校になじむ準備ができて、安心しました



娘は小学校入学を楽しみにしていましたが、トイレは洋式か、階段は登れるか等、とても不安に思っている様子が伝わってきました。私自身も小学校に入学してからお友達と仲良く遊べるかしらとずっと心配していました。

ある日、思い切って、いつも支援をしてくれている幼稚園の先生にそのことを話しました。早速、先生が市の教育委員会に連絡をしてくれ、学校を見学できることになりました。小学校の先生（「特別支援教育コーディネーター」と紹介されました）と一緒に校内を回り、教室の様子を見たり、トイレを確認したりしました。娘も私も小学校の先生に不安に思っていたことをお聞きすることができ、とても安心しました。また、卒園まで娘が落ち着いて生活することができてよかったです。（6歳児の母）

=お子さんの行動には、それぞれ理由（背景）があります=

お子さんなりの理由や思いを受けとめ、子育てをすることが、健やかな成長につながります。お子さんの良さ（長所・強み）に気づくためにも、**相談は早い方が良い**です。独りで悩むよりも、相談することで子育てのヒントを見つけることができます。一緒に考えていきましょう。

「相談してみようかしら」という保護者の皆さんの思いを受けとめる相談機関（場所）がいろいろあります。ぜひご活用ください。

早く上手につながり続けよう